

玉江校区社会福祉協議会だより

玉江のきずな

『安心情報キット』と 『福祉マップ』

福祉部 部会長 梶原祐一郎

玉江校区社会福祉協議会では、高齢者等が地域で安心して生活できるための活動の一環として、緊急時対応や見守り活動のきっかけづくりとなる、「安心情報キット」の配布を予定しています。このキットは、緊急時の迅速な人命救助に役立ちます。緊急連絡先や持病、かかりつけ病院などの情報を記入した「医療情報記録用紙」を筒状の専用容器に入れて冷蔵庫内に保管



します。そして、救急隊員等が駆けつけた時に記載された情報を活用し、適切な対応につなげるものです。対象者の日頃の不安を和らげる事とも繋がると思います。まずは、一人暮らし高齢者から順次配布する予定です。

また、「福祉マップ」は、校区内及び周辺地域にある福祉関係施設や公共施設などを記載した地図です。ご家庭の目立つ場所に掲示していただき、困った時や相談したい事がある時、あるいは利用したい施設を探す時に役立ててください。校区内の全世帯に一斉に配布する予定です。

これからも玉江校区社会福祉協議会は、福祉に関する講習会やイベント等を開催して、地域福祉（皆さまの幸せ）のために、活動して参ります。皆さまのご理解とご協力をよろしくお願い申し上げます。

〒890-0005
鹿児島市下伊敷1-35-1
玉江校区社会福祉協議会
TEL 813-7125
FAX 813-7126

「介護講習会について」

グループホーム小野の里
管理者 河野一紀

私たち小野の里は「笑顔溢れる地域に信頼されるホーム」を目指し、認知症になっても住み慣れた地域の中、家庭的な雰囲気で安心した共同生活が送られるよう支援する施設です。協議会でも社会福祉部会に所属し、校区文化祭などの地域行事の参加や地域との交流活動に取り組んでいます。

令和5年10月29日小野市民館にて介護講習会をさせていただきました。「介護講習会」と聞くと介護の知識や技術のお話になりがちですが、今回は新型コロナウィルス感染症対策の為、参加者の皆さんと接触しない形の講習会とさせていただきました。認知症の理解を深めていただけるように、スタッフと話し合い、認知症の方への接し方や認知症の方が抱えている不安等をわかりやすく地域の皆様にお伝えする方法として、認知症の症状についての資料の配布と認知症の方の気持ちを理解した対応と理解していない対応の違いについて、笑いを交えながら、よくある事例をスタッフの演劇を通して見ていただきました。「小野の里劇団」のグダグダなお芝居ではありましたが、寝る間も惜しんで練習を積み重ねてきました。（笑）今後、認知症の方に接する機会があった時に今回の講習をなんとなくでもいいので思い出して、少しでも活かしていただける機会となればとても嬉しいです。

今後も地域の皆様と協力し、安心して暮らせる地域づくりに取り組んでまいりますので、宜しくお願ひします。



紹介コーナー

小野の元気びと



「岩元 司さん」

とにかく多才な芸の持ち主だ。工務店を営まれていたが、現在は退かれ悠々自適の毎日。これまで仕事の傍ら町内会長、6年間の民生委員など歴任、地域の社会奉仕活動にも尽力。夏の恒例行事「日枝神社六月灯」で開催される余興の舞台、その資材の格納庫の設計も手掛けられ随所に作業者に配慮した知恵が盛り込まれ搬出、搬入がスムーズと好評。5月の「幸加木川」に舞うミニ鯉のぼりは岩元さんが提案、県への掲揚申請、鯉のぼり手配、掲揚資材の加工、組み立てなど全て一人で実施、鯉のぼりの掲揚には地域から多くのボランティアが参加され、作業は順調に進み予定より早く鯉が舞い始めた。今や小野町初夏の風物詩的存在。なお、今年から鯉のぼり掲揚は小野町連合会が年間行事の一環として取り組むことになった。

また趣味のカラオケはプロ級腕前、その熱の入れ方は「半端」ではない。自宅の離れにはカラオケセットが設置された「スタジオ」があり、自身が作詞作曲した「天文館夜の川」をCDにして販売、その歌も含め焼酎片手にカラオケの世界に浸る事が至福とか。1,000枚製作のCDが何枚売れたか？聞く勇気はない。



一方、郷土歴史探訪にも造詣が深く、地元の中福良はもとより「田の神さあ」日枝神社に鎮座する石像、記念碑の歴史的由来を調べ、地域の「宝」を後世に伝えるため、手作りで冊子にまとめて保存、継承活動にも努められている。最近は俳句、川柳にも挑戦、その多才ぶりは健在。南日本新聞の「南日柳、狂壇」にも度々掲載されるなど充実した日々。締めに新聞に掲載された作品を紹介したい。

【南日柳壇】「幸せを よちよち歩きが 連れてくる」
【南日狂壇】「夜(よ)が這(へ)れば 焼酎(そっ)を飲めよち 蚊が食ろっ」

(取材 M)

かかやく仲間たち

「待ち遠しい楽しみな金魚草」

会長 永重信子

私達は、平成27年に発足して今年で10年目になる女性9人のグループです。最初にみんなでネーミングを考えようと検討した結果、最後に、「おしゃべりが好きな仲間」とわかり、花言葉から「金魚草」と額負けするようなネーミングになりました。毎月第一土曜日の19時から約2時間公民館に集まって町内会活動、玉江小餅つき大会、七夕飾り作り、敬老の方への手作りプレゼント（エコバック、小物入れ籠など）一番大きい行事の町内会運動会の準備など頑張っています。



運動会、敬老会など人が集まる行事は、ここ4年控えてきましたが、今年から行えたらと思った

ております。また外部から体操、ヨガの先生を招いたり、校長先生の講話を聞いたりと毎回様々なジャンルに挑戦しています。

その他に、会員のそれぞれの持ち味を生かして、健康話、料理、脳トレ、日帰りドライブ、一泊旅行などを行ってきました。11月の忘年会、12月の正月生け花も大好評です。春になったらお花見やパークゴルフなど外の行事も新しく取り上げようと思っています。



小さな活動が、地域を盛り上げる力になれば大変嬉しく思います。有難うございました。